

一般社団法人日本医療薬学会 第1回臨時社員総会

1. 日時 平成21年10月25日(日) 12:30～13:30
2. 場所 長崎ブリックホール3階 国際会議場
3. 会議の目的事項

決議事項

平成22年度事業計画案

平成22年度予算案

次 第

1	会頭挨拶		
2	成立確認		
3	議事録署名人指名		
4	議題		
	第1号議案	平成22年度事業計画案	1
	第2号議案	平成22年度予算案	3

平成22年度事業計画（案）

新公益法人制度への対応として、従来の事業を継続的に維持しつつ、新公益法人制度に適合した運営を行うため学会組織の整備、各種規程の見直しを行う必要がある。さらに本年度より、専門薬剤師の認定事業を開始する。会員数は増加の一途をたどり、認定制度による認定薬剤師数も1,000名を超え、公益性のある団体としての飛躍が期待される。

本会の事業は定款第4条に従い、年会、医療薬学公開シンポジウムのほか、それぞれ担当する委員会において遂行することになる。

平成22年度の事業計画の概略は以下の通りである。

1. 年会開催（第4条第1項関連事業）

第20回年会 年会長 北田 光一

開催日程 平成22年11月13日(土)～14日(日)

会場予定 幕張メッセ他

〈参考〉 第21回年会 平成23年10月1日(土)～2日(日) (神戸)

2. 医療薬学公開シンポジウム（第4条第1項関連事業）

第38回～41回の4回を開催予定

3. 医療薬学発行（第4条第2項関連事業）

第36巻1号～12号として発行

4. 会議

定例理事会 5回開催

第2回定時社員総会 日本薬学会第130年会開催時予定

第2回臨時社員総会 日本医療薬学会第20回年会開催時予定

5. 各委員会活動（第4条第1～7項関連事業）

(1) 総務委員会 学会の組織基盤の強化、法人化後事務局体制並びに会務運営の見直し

(2) 財務委員会 予算執行状況、財産の管理処理に関する事項、21年度決算報告、23年度予算案の作成

(3) 企画運営・広報委員会

広報・会報小委員会 会報のあり方の見直し、新規ホームページの立ち上げ、パンフレットの改訂

企画・シンポジウム小委員会 医療薬学公開シンポジウム企画

(4) 会員委員会 会員増計画の検討、会員名簿の発行

(5) 編集委員会 会員からの投稿論文を受付け、審査を迅速かつ適正に実施し、採否を決定する。

「医療薬学」第36巻1～12号の掲載論文を決定し発行する。論文の投稿、審査、掲載等にかかる諸問題に対応し、掲載論文数及び学術論文としての質の維持・向上を図る。インパクトファクターの取得に向け情報収集を行い、必要に応じて方策を実施する。

(6) 認定薬剤師制度委員会 認定薬剤師の認定・指導薬剤師の委嘱、認定薬剤師制度規程の改訂、研修施設の増加推進対策、認定資格更新審査

認定試験実行小委員会（年7回）認定試験の実施

認定試験問題出題小委員会（E-mail会議）認定試験問題の作成

(7) 専門薬剤師認定制度委員会（仮称）

医療法上の広告可能ながん領域の専門薬剤師の認定事業を行い、専門性のある優れた人材の育成に努める。受験資格の確認、合否判定を行う。

- ・研修委員会（仮称） 認定要件に沿った研修施設の認定、講習会の企画・実施
 - ・試験委員会（仮称） 試験問題の作成・実施
- (8) 専門薬剤師育成委員会 他学会との共催を含むシンポジウムの開催、e-learning 事業への協力
- 糖尿病療養指導士育成小委員会 薬剤師糖尿病療養指導士育成セミナーの企画・開催
- 感染制御専門薬剤師育成小委員会 感染制御専門薬剤師育成支援
- (9) 学会賞等選考委員会
- 功績賞選考委員会 功績賞の選考
- 学術貢献賞・奨励賞選考委員会 学術貢献賞候補、奨励賞候補の募集と選考
- 1) 応募者数が少ないため、増加策を講じる必要がある。例えば、①公募開始時期を早める。②理事・代議員は必ず推薦を行うなど、具体的な提案を行う。
 - 2) 奨励賞・学術貢献賞の趣旨については、応募資格、提出資料等に関して十分な理解が得られていない感がある。両賞の意義・趣旨を改めて吟味し、会員等への周知徹底を図る。
- 論文賞選考委員会 論文賞候補の推薦と選考
- 年会長賞（優秀発表賞、ベストポスター賞）の定期表彰と選考方法の検討。
- (10) 医療薬学教育委員会
- 1) 実務実習面 病院実習の難しいLSの解説集を作成、セクハラ・パワハラ等の防止パンフレットの作成
 - 2) 生涯教育面 プロフェッショナル・スタンダードとの照合とクリアできていない項目の方略案、ヒューマニズム教育や法律・制度を遵守する教育の立案、新たな学習方法とコンテンツの開発
 - 3) 薬剤師職能拡大面
 - ・スキルミクス展開のための研修プログラム開発
 - ・セルフメディケーション支援
 - ・EBMをスタンダードとした処方支援
- (11) 出版委員会
- 1) 出版計画
 - ・薬物治療マニュアル（仮題） 平成22年度は、平成20年度に企画した薬物治療の generalist としての資質の向上と specialist への入門となる参考図書について、平成22年11月開催の第20回医療薬学会年会時までの出版を目標に活動を行う。原稿締切：平成22年3月末 委員会校閲終了：平成22年5月上旬
 - ・医療薬学用語辞典（仮題） 医療薬学系の用語について、英語・日本語対応用語リストおよび新しい領域の用語の解説をまとめ用語辞典とする。本委員会では、用語の精査を担当する。
 - 2) 書籍の普及 出版後は普及啓発のための広報活動を行う。会誌、出版社への広告等
- (12) 国際交流委員会
- 海外の医療薬学関連学会との交流、海外学会派遣事業、日中医療薬学シンポジウムの共同企画及び参加

日本医療薬学会 平成22年度 収支予算(案)

自平成22年1月1日
至平成22年12月31日

<単位:円>

勘定科目		平成21年度 予算額	平成22年度 予算額	増減	摘要		
大	中						
Ⅰ 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
		↓ 専門に係る費用予算額に含んで算出					専門に係る費用
①	会費収入	70,550,000	77,700,000	7,150,000			
	正会員会費	68,400,000	76,000,000	7,600,000	9,500×8000人		
	賛助会員会費	720,000	700,000	▲20,000	20,000×35口		
	学生会員会費	950,000	1,000,000	50,000	5,000×200人		
	図書会員会費	480,000	0	▲480,000	10,000×48施設(購読者に移行)		
②	事業収入	10,320,000	12,860,000	2,540,000			
	認定審査料	4,320,000	6,390,000	2,070,000	審査料(受験料含む)・認定料・更新料	1,500,000	
	投稿掲載料	6,000,000	5,970,000	▲30,000	投稿料・掲載料		
	購読料	0	500,000	500,000	10,000×50施設		
③	補助金収入			0			
	民間助成金収入	0	0	0	海外研修派遣事業補助金		
④	負担金収入	0	0	0			
⑤	寄付金収入	10,000	10,000	0			
⑥	雑収入	1,500,000	1,600,000	100,000			
	受取利息	100,000	100,000	0	預金利息		
	雑収入	1,400,000	1,500,000	100,000			
	事業活動収入計	82,380,000	92,170,000	9,790,000		1,500,000	
2. 事業活動支出							
①	事業費支出	63,100,000	66,145,000	3,045,000			
	事務委託費	8,000,000	8,000,000	0	日病薬業務委託費		
	会誌発行費	35,600,000	33,745,000	▲1,855,000	会誌発行費 8,500部	150,000	
	印刷費	5,000,000	7,000,000	2,000,000	会報・認定証・会員名簿等	2,500,000	
	会議費	5,000,000	7,500,000	2,500,000	各委員会・認定試験実施費用等		
	旅費交通費	500,000	500,000	0	事務局交通費		
	通信運搬費	2,000,000	2,100,000	100,000	通信費等	100,000	
	消耗品費	500,000	800,000	300,000	事務用品		
	調査費	1,000,000	0	▲1,000,000	アンケート		
	助成金	1,500,000	1,500,000	0	年会・シンポジウム(年4回)		
	露磁的広報費	2,000,000	3,000,000	1,000,000	HP維持費・J-STAGE(BIBファイル)、HP改訂		
	海外研修派遣費	0	0	0	海外派遣費		
	雑費	2,000,000	2,000,000	0	団体年会費・表彰賞金		
②	管理費支出	19,100,000	19,300,000	200,000			
	事務委託費	9,500,000	9,500,000	0	日病薬業務委託費		
	福利厚生費	300,000	300,000	0			
	会議費	3,500,000	3,700,000	200,000	理事会・社員総会		
	旅費交通費	100,000	100,000	0	役員出張費		
	通信運搬費	2,000,000	2,000,000	0	電話代、切手代等		
	消耗品費	500,000	500,000	0	文具代、コピー用紙等		
	交際費	200,000	200,000	0	慶弔等		
	雑費	3,000,000	3,000,000	0	会計監査料・振込手数料等		
	事業活動支出計	82,200,000	85,445,000	3,245,000		2,750,000	
	事業活動収支差額(A)	180,000	6,725,000	6,545,000		-1,250,000	
Ⅱ 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
①	その他の収入	0	0	0			
②	特定預金取崩収入	0	0	0			
	投資活動収入計	0	0	0			
2. 投資活動支出							
①	特定預金支出	0	0	0			
②	固定資産取得支出	0	0	0			
③	その他支出	5,000,000	5,000,000	0			
	財政安定引当金支出	5,000,000	5,000,000	0			
	投資活動支出計	5,000,000	5,000,000	0			
	投資活動収支差額(B)	▲5,000,000	▲5,000,000	0			
Ⅲ 財務活動収支の部							
	財務活動収支差額(C)	0	0	0			
Ⅳ 予備費支出(D)							
	当期収支差額(=A+B+C-D)	▲6,820,000	▲7,275,000	▲455,000			
	前期繰越収支差額	24,000,000	35,000,000	11,000,000			
	次期繰越収支差額	17,180,000	27,725,000	10,545,000			